

CDP水セキュリティレポート2020報告会×Water Project パネルディスカッション

富士フイルムグループの水セキュリティの取り組み



富士宮事業場内の湧水 水源地



WATER

2021年3月9日
富士フイルムホールディングス株式会社
執行役員 ESG推進部長
川崎 素子

1. 富士フイルムグループ概要

創 立	1934年 (昭和9年)
代表取締役会長・CEO	古森 重隆
代表取締役社長・COO	助野 健児
連結売上高	(2020年3月期) 2兆3,151億円
連結営業利益	(2020年3月期) 1,866億円
連結従業員数	約7.4万人 (2020年3月末現在)
連結会社数	317社 (2020年3月末現在)

持株会社 **富士フイルムホールディングス株式会社** (2021年2月末現在)

事業会社

シェアードサービス会社

100%

100%

100%

100%

100%

FUJIFILM
富士フイルム株式会社

FUJI xerox
富士ゼロックス株式会社

FUJIFILM
富士フイルムビジネスエキスパート株式会社

FUJIFILM
富士フイルムシステムズ株式会社

FUJIFILM
富士フイルム知的財産
リサーチ株式会社



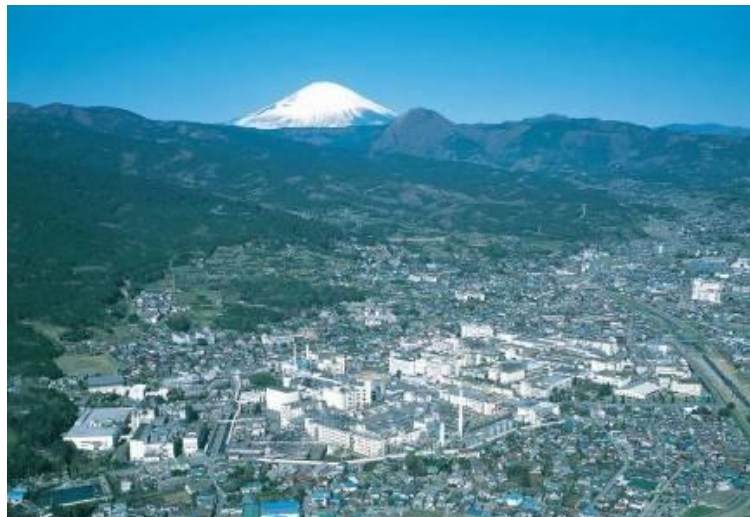
1. 富士フイルムグループ概要

◆事業分野



2. 富士フィルムグループのCSR

◆環境に対する考え方——創業以来のDNA



神奈川事業場足柄サイト



神奈川事業場足柄サイトの水源と涵養林

- ◇ 創業の原点ともいえる写真フィルムの製造には、**清浄な水や空気が不可欠。**
- ◇ 写真フィルムは撮影前に試すことができない。一生に一度のシーンは撮り直しがきかない。
⇒ **「信頼を買っていただく商品」**
- ◇ 真摯に積極的に環境保全に取り組むと同時に、**お客様や地域の方々との双方向のコミュニケーション**も積極的に実施し、**信頼を築いてきた。**



創業以来

- **環境配慮・環境保全**
- **ステークホルダーからの信頼**
- **地域とのコミュニケーション**

は、**「企業活動の根幹を成す」**との考え方

2. 富士フイルムグループのCSR

◆CSR計画——

Sustainable Value Plan(SVP)2030

サステナブル社会の実現

Value from Innovation

FUJIFILM Sustainable Value Plan 2030

🌍 環境

1. 気候変動への対応
2. **資源循環の促進**
 - 水リスクへの対応
 - 廃棄物の削減
 - 資源投入原単位の改善
3. 脱炭素社会への実現を目指したエネルギー問題への対応
4. 製品・化学物質の安全確保



3. 目標と進捗

◆富士フイルムグループの水資源に関する目標と進捗

(1) 2030年までに当社グループによる水投入量を**30%削減**(2013年度比)

進捗 2019年度 **16%削減**

(2) 2030年度までに製品・サービスにより、社会での水処理**35百万トン/年**に
貢献

考え方：当社グループの水投入量と同等レベルで社会に貢献する

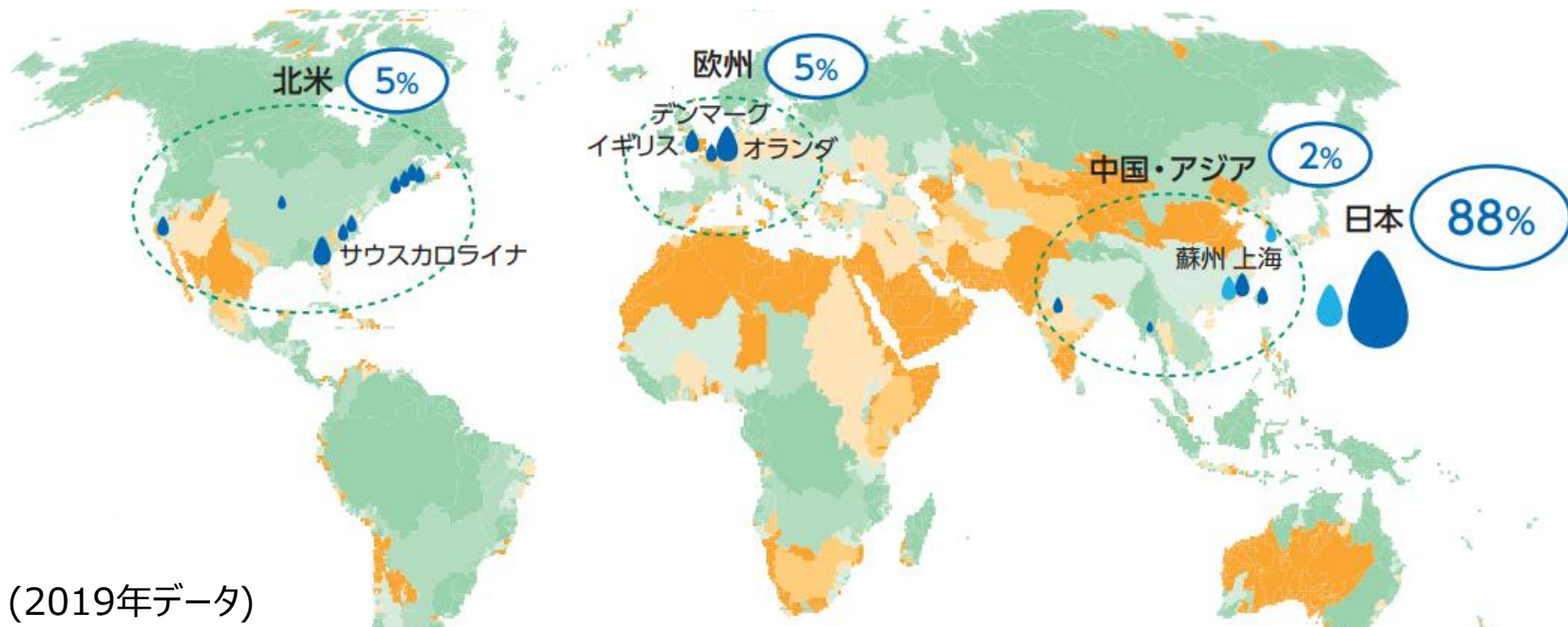
進捗 フィルトレーション材料等により

2019年度 **6.9百万トン**に貢献

4. 水リスクに対する取り組み

◆事業拠点の水リスク評価

2025年の水ストレスマップ予測と富士フィルムグループの水投入量

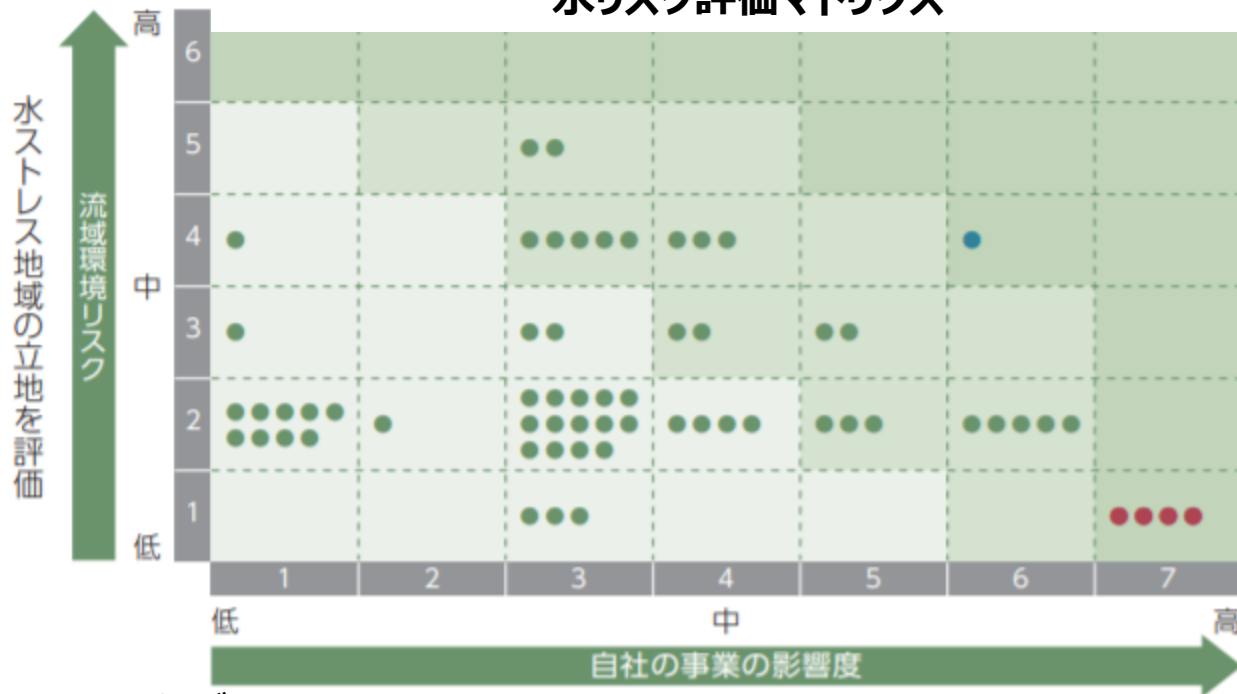


・水ストレスマップをもとに、当社グループ事業拠点所在地の水ストレス度を評価

4. 水リスクに対する取り組み

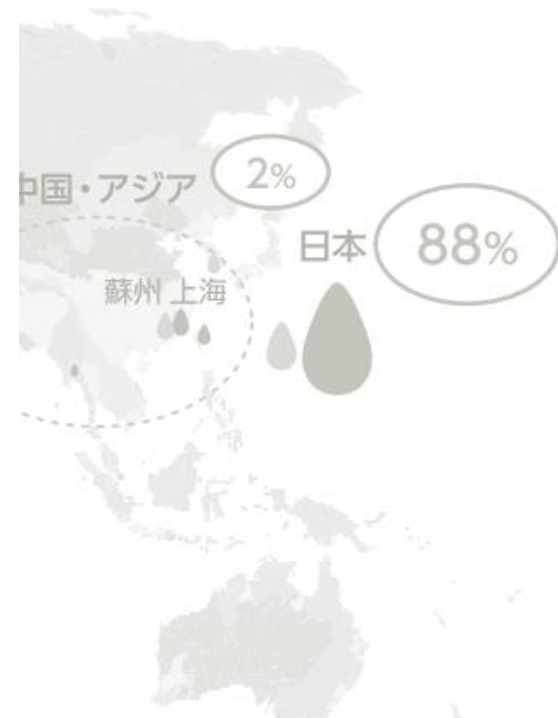
◆事業拠点の水リスク評価

水リスク評価マトリクス



(2019年データ)

水投入量とビジネスリスクを評価



- ・水ストレスマップをもとに、当社グループ事業拠点所在地の水ストレス度を評価
- ・事業拠点所在地の水ストレス度を縦軸、事業に対する水の重要度を横軸として水リスクを評価
- ・リスクの高い事業拠点で優先して対策を実施(2014年～)

4. 水リスクに対する取り組み

◆水の循環利用による水投入量削減(日本)

富士フイルム九州

雨水を循環させて利用



廃水を処理し再利用

水を60%以上リサイクル



中央調整池(1.3万トン)



4. 水リスクに対する取り組み

◆水の循環利用による水投入量削減(海外)

FUJIFILM Manufacturing
U.S.A.,Inc. (米国)

大量の水を使用するカラー印画紙の
製造工程で廃水をリサイクル



廃水のリサイクルシステム
30万トン/年の節水

FUJIFILM do Brasil Ltda.(ブラジル)

水不足が深刻な地域において
雨水を回収利用



雨水貯蔵設備
約60トン/年の節水

4. 水リスクに対する取り組み

◆地域との協働による水保全活動

地域一体での水源保護や涵養林整備

- ・水資源の確保
- ・近隣住民の生活用水として活用
- ・山林の管理 = 洪水などの災害防止

神奈川事業場

- 箱根外輪山に約23万m²の涵養林保有
- 地域協働での700万m²の山林保護

富士宮事業場

- 水源地に約3万m²の涵養林を保有
- 地元の方々との河川清掃活動



神奈川事業場足柄サイト水源と水源涵養林



『保有林』 定期的な間伐による森林管理

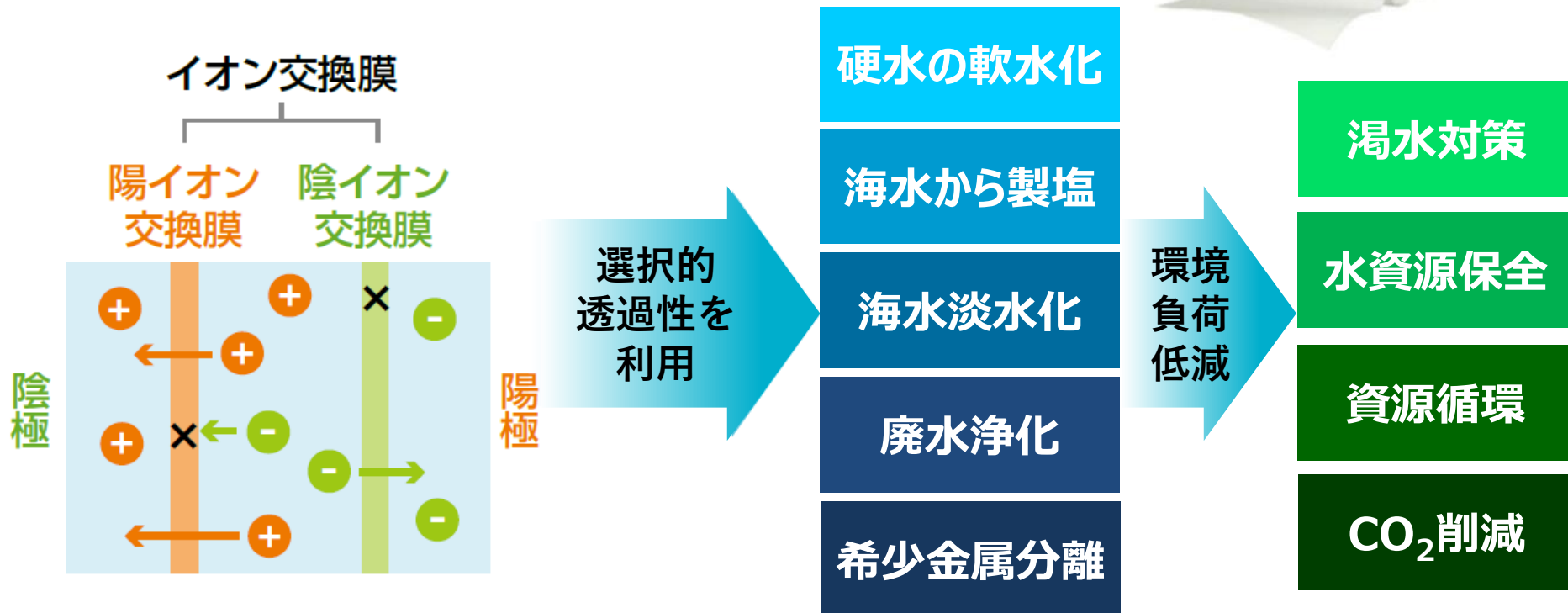


富士宮事業場湧水と河川清掃

4. 水リスクに対する取り組み

◆当社技術・製品による社会の水リスク対策への貢献

水問題に対し多様な用途に活用可能な「フィルトレーション技術」



フィルトレーション技術・製品の用途拡大により、社会における水問題の解決や、その他環境負荷の更なる低減などに貢献

5. まとめ

- 「大量で清浄な水と空気」の環境の中で水資源保全の企業文化を醸成
- SVP2030のもと、自社の水投入量削減・社会の水処理量貢献を推進
- フィルトレーションなどの技術で、社会での水の有効活用・水リスク低減に貢献



富士宮事業場より望む富士山

FUJIFILM
Value from Innovation